



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

発行責任者 横地常広

編集責任者 深澤恵治

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号

TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722

ホームページ <https://www.jamt.or.jp>

P1 日臨技支部医学検査学会開催報告 (5) 【中四国支部】

P2～P3 全国「検査と健康展」2025 各地からの報告 第3回

P4～P8 2025年度 日臨技臨床検査精度管理調査実施要領

P9 HUG研修会を開催して (1) 【山口県臨床検査技師会】

日臨技支部医学検査学会開催報告(5)

2025年度 中四国支部医学検査学会 (第58回)

次世代への架け橋 ～人・知・技・・・そして未来へ～

ミライ
学会長 弘内 岳
実行委員長 高野 静香



令和7年度日臨技中四国支部医学検査学会 (第58回) を令和7年11月29日 (土)、30日 (日) に高知市文化プラザかるぼーとで、一般社団法人高知県臨床検査技師会が担当し開催しました。

本学会のテーマは「次世代への架け橋 ～人・知・技・・・そして未来 (ミライ) へ～」としました。近年のAIをはじめとする技術の進歩は目を見張るものがあり、医療及び臨床検査の分野も例外ではありません。新しい臨床検査の開発や最新の機器は日進月歩でアップデートされています。Technologistとは“科学的知識を応用して実用的な問題解決に取り組む人、または特定の分野の技術を専門とする人”とAIは答えます。そういう時代の中、我々一人ひとりの臨床検査技師が持つ、知識や技術を改めて見直し、次世代へ・未来へ継承していくという意義を含め、本テーマのもと学会を企画・運営いたしました。

プログラムとして特別講演、文化講演、教育講演、シンポジウム8件、一般演題148題、ランチョンセミナー12題、スイーツセミナー1題、企業展示:36社・47小間を準備することができました。学会事前参加申込者は668名を数え、最終的に800名以

上の会員および賛助会員に参加していただきました。

本学会では特別公演として、高知大学医学部危機管理医療学講座の西山謹吾先生に、「南海トラフ地震で考えられる問題点とその対応 (事前準備の必要性)」

と題して、南海トラフ大地震への対応についてご講演いただき、改めて巨大地震について考えさせられました。教育講演は高知大学医学部泌尿器科学講座の井上啓史先生に、「光で診て、光で治す ～Photo-Theranostics Era～」の講演名で、最先端の光線医療技術についてご解説いただきました。文化講演は高知県立のいち動物公園の木村夏子先生に日本で14羽しか飼育されていない動かない鳥と言われているハシビロコウについて、「ハシビロコウの適正飼育と繁殖生理の解明を目指して ～ささとカシシのペアリング～」をご講演いただきました。

11月29日には三翠園で情報交換会が開催され、各県の会長にご無理を言ってご用意いただいた地酒の饗宴を、300人を超える参加者が楽しむことが出来ました。また高知市役所のよさこいチームに来ていただき、県外の参加者に即興でよさこい鳴子踊りをご指導いただき、最後はみんなでよさこい鳴子踊りを踊って、楽しい交流を持つことが出来ました。

最後に本学会に参加いただいた多くの皆様、そして企画・運営・開催にご尽力いただいたすべての関係者の皆さまに、(一社) 高知県臨床検査技師会を代表し心より感謝申し上げます。



全国「検査と健康展」2025 各地からの報告 第3回

福島県

令和7年11月2日（日）福島県立医科大学保健科学部にて「検査と健康展 2025 in FUKUSHIMA」を開催しました。大学内の開催でしたので、臨床検査技師に興味がある高校生に会場してほしいと思い、進学情報提供や進路相談のコーナーも準備しました。事前に5つの高校にポスター、チラシ、パンフレットを配布しましたが、当日自ら来てくれた高校生は2から3人でした。しかし、呼び込み係の頑張りにより幅広い年代層68名の来場者がありました。特に10代・20代の若年層参加が目立ちました。超音波検査で何が見えるかな、ミクロの世界を見てみよう（血液・細菌）、臨床検査技師のお仕事体験コーナー、寄生虫展示、臨床検査についての説明、認知症についてのポスター説明、キッズ体験コーナー（白衣を着て記念撮影）など楽しく展示を見ていただきました。アンケートでは、74.4%の方が臨床検査技師を知っていますという結果で認知度も高まっている傾向が見られました。また、血圧測定や貧血検査、血管年齢などの検査は簡単に手軽にでき好評でした。臨床検査専門医会の医師による健康相談も15名の方が受けられました。自身の健康に興味を持ち健診を受けている方も多かったです。来場者が帰る時にはさまざまな感想も聞けました。「一般的に知らない仕事なので、検査技師の仕事を詳しく知れて良かった」「今後もこの活動を続けて下さい」「専門の人の話は興味深かった」「また参加したい、楽しかった」「体験もできて良かった」など、私たちの励みにもなりました。今後は継続的な健康啓発と地域との連携強化を図りたいと考えます。

（福島県臨床検査技師会 藤野 博子）



育センター総合診療科教授 小林裕幸先生に、「眠っている間の生活習慣病 ～睡眠時無呼吸症候群とは～」と題して講演頂きました。先生は、総合診療とスポーツ医学がご専門で、自身の診療経験を踏まえつつ、この病気は、家族など本人以外の気付きが大切なこと、日本には少なく見積もっても400万人の患者がいるのに治療を受けているのは50万人しかいないことなど、これからの啓蒙に繋がる有意義な内容を講演いただきました。

健康チェックと市民公開講座、養成校の紹介を通じて、県民の方々の、健康に対する意識の向上と臨床検査技師に対する理解が深められたと感じております。

（茨城県臨床検査技師会 木村 靖子）

愛知県

令和7年11月16日（日）イオン三好ショッピングモール（アイ・モール三好）にて、全国「検査と健康展」を開催しました。

X'mas前ということもあり、会場の横には大きなX'masツリー、親子やご家族での買い物客で賑わいました。臨床検査技師のお仕事体験として超音波検査や血液像、尿定性検査など、各60～80名の方にご参加いただきました。

また、健康チェックコーナーでは骨密度測定、嗅覚チェック（認知症）を行い、臨床検査技師による結果説明とともに日常生活における改善ポイントの指導を行いました。会場近くの技師会会員の方たちも足を運んでいただき、ご家族で参加していただきました。来場者は延べ440名と昨年と同程度でしたが、骨密度検査はやはり注目の的。お客さんが途切れることはありませんでした。実務に参加された21名の会員の方々も一般市民の方とのやりとりを楽しみながら行うことができました。

今後も臨床検査について正しい知識とその普及・啓発活動とともに公益事業に取り組んでいきたいと思っております。

（愛知県臨床検査技師会 和出 弘章）



茨城県

令和7年度全国「検査と健康展」in IBARAKIを、令和7年11月16日（日）にイオンモール水戸内原で開催しました。市民参加型健康チェック

（血管年齢測定・骨密度測定・物忘れチェック・体組成測定）と市民公開講座、臨床検査技師養成校の紹介を実施しました。

今回は、主に茨城県県北地区に勤務する茨城県臨床検査技師会会員20名、つくば国際大学教員および学生各1名、合計22名を実務委員とし開催しましたが、慣れない環境の中精一杯頑張ってくれました。

市民公開講座では、筑波大学附属病院水戸地域医療教



奈良県

令和7年度日臨技主催、全国「検査と健康展」の地方会場の一つとして、イオンモール奈良登美ヶ丘で開催しました。

当日は天候に恵まれ快晴で多くの方の来場があり、会場はおおいに賑わい開催ができました。各検査コーナーには行列ができませんでした。絶え間なく来場者があつた印象です。血管年齢と位相差顕微鏡は人気がありました。今回は光学顕微鏡の細菌観察のコーナーを設けました。名前はよく聞く



であろう菌として、キャンピロバクターや結核菌、カビなどの鏡検スライドを用意しました。普段見るものの見ることのできない菌を見れるとあり、皆様興味津々で観察されていました。多少の待ち時間はありましたが、来てくださった方々は検査を受けられ、結果を真剣に聞かされていました。臨床検査技師という職業を広く知って頂き、健康に興味を持って頂ける良い機会になったのではないかと思います。

(奈良県臨床検査技師会 梅木 佑亮)

島根県

令和7年10月18日(土)イオンモール出雲で「検査と健康展」を開催しました。島根県は神在月、県内各所で多くのイベントが行われていましたが、会場がショッピングモールということもあり、事前の広報とパンフレット配布の効果で、134名にご参加いただきました。

当日は、健康チェックとして、血圧、骨健康度、血管年齢、貧血の検査を、検査体験として超音波検査装置でフルーツゼリーの中身を当てるクイズを行いました。会場外周には臨床検査・認知症のパネル・ポスター展示を行い、待ち時間の活用として、日臨技作成の「みんな知ってる？臨床検査技師のしごと」を会場内で放映しました。

健康チェックでは、受診機会の少ない骨健康度や血管年齢の参加が多く、結果説明に「現状を知ることができて良かった」との感想や「改善に必要な事は」と質問されるなど、健康への関心の高さを実感しました。超音波検査体験では、参加した子供たちが、プローブを動かして画面にフルーツが描出されると、特徴を詳細に観察し見事に言い当てていたのが印象的でした。

今回もいろいろな年代の方に臨床検査と臨床検査技師を認知していただけるよい活動になったと思います。

(島根県臨床検査技師会 石倉 陽子)



山口県

令和7年度全国「検査と健康展」を山口県は11月9日(日)に湯田温泉こんこんパークにて開催いたしました。昨年同様、臨床検査や臨床検査技師に対する認知向上を目的として、市民の方に臨床検査を体験していただく形で開催しました。展示内容は昨年と同じ顕微鏡体験・超音波検査体験・検体採取体験・大学紹介、認知機能検査体験を企画しました。



開催当日、雨天という天候のため、来場者は伸び悩みました。しかし終了してみると各展示ブースの来訪者の合計は266名(延べ人数)と昨年を上回る形で開催することができました。(昨年の総計244名)ご家族連れの方やご夫婦での来場者が特に多く、日常では決して体験できない『臨床検査』が新鮮に感じていただけたのではないかと感じました。

会場の大型ビジョンでは、PR動画『みんな知ってる？臨床検査技師のしごと』を流すことで、インパクトのある展示となりました。複数の展示ブースを見て回る方も多く、その中では臨床検査技師・臨床検査について知ってもらうだけではなく、興味のある方は、臨床検査技師に質問をいくつもしており、お一人ずつ時間をかけて丁寧に説明することで、医療の啓発活動も行えたのではないのでしょうか。

今後も新たな臨床検査体験を企画することで、山口県臨床検査技師会として臨床検査や臨床検査技師についてより多くの方に知っていただき、市民の皆様の健康に貢献できるように精進したいと考えております。

最後に、開催にあたりご支援を頂いた企業の皆さまに心より御礼を申し上げます。

(山口県臨床検査技師会 濱邊 ともみ)

佐賀県

2025年11月2日(日)に2025年度「検査と健康展」in佐賀を、昨年に引き続き佐賀市の大型商業施設(ゆめタウン佐賀)



において開催いたしました。佐賀バルーンフェスタの開催期間とかぶりましたが、多くのお客様で賑わうなか、臨床検査技師のお仕事体験では「顕微鏡で観察」に114名、「エコーでの観察」はフルーツゼリーの中身当てに96名、胎児用ファントムの観察に77名、健康チェックでは「体組成測定・握力測定」に236名、物忘れ検査に124名、乳がん触診モデルを使った乳がんセルフチェック体験に89名体験いただきました。各コーナーは、ご家族連れから高齢者の方まで大変好評でした。その中で、アンケートに協力いただいた212名の方の約81%が臨床検査技師を知っている(名称のみ含む)と回答をいただきました。また、知らないと回答された19%の内約半数が小学生以下で、小・中学生への啓発活動の必要性を感じました。臨床検査に関する知識の普及や啓発、臨床検査技師を知っていただく良い機会となりました。最後に、参加していただいたスタッフや関係者の皆様に感謝申し上げます。

(佐賀県臨床検査技師会 石橋 徳子)

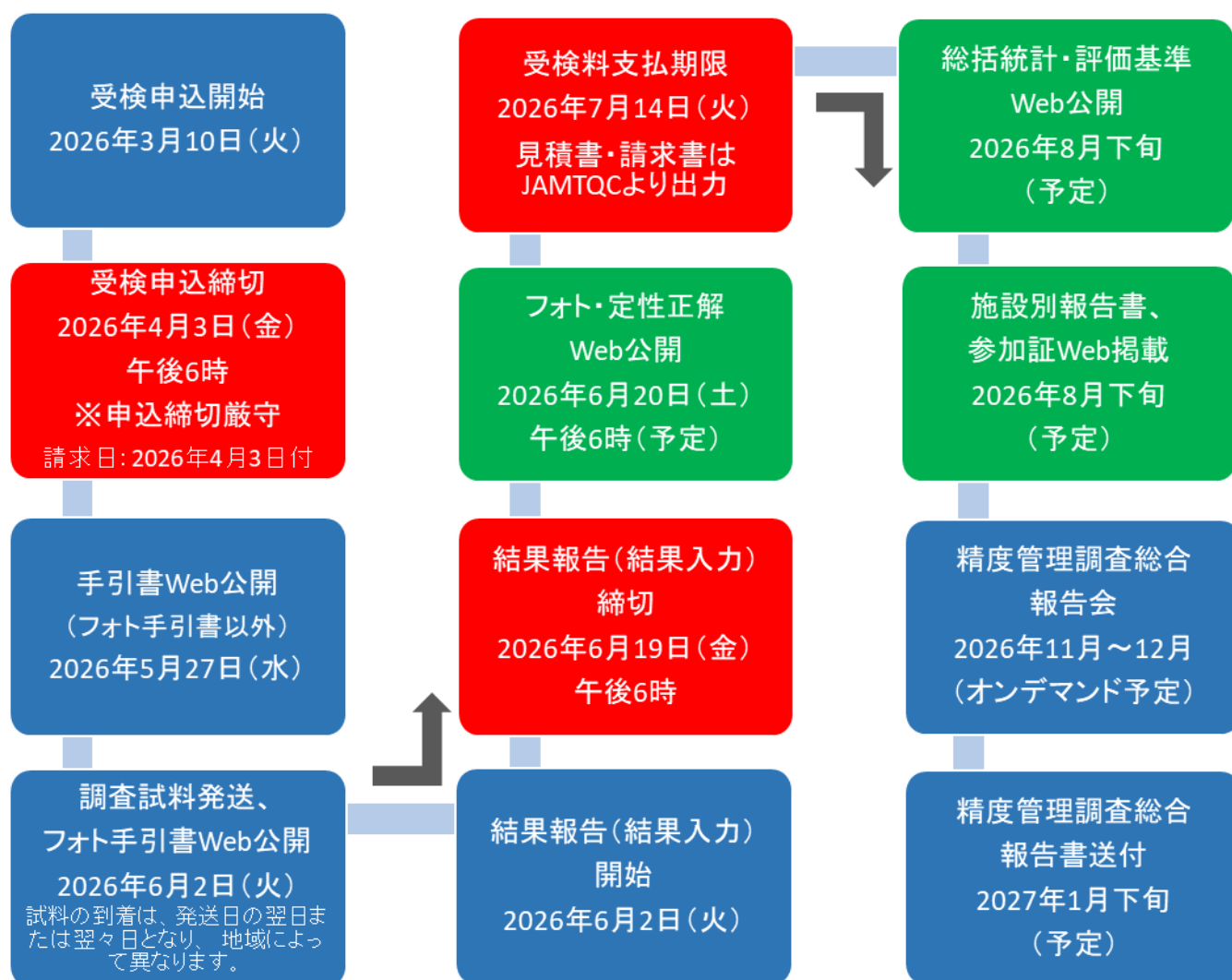
2026年度 日臨技臨床検査精度管理調査実施要領

当会が実施する「日臨技臨床検査精度管理調査」は、臨床検査の全分野を網羅する国内唯一の外部精度管理調査であり、4,600を超える参加施設があります。平成30年12月より施行された改正省令（平成30年厚生労働省令第93号）においても、当会の精度管理調査は、受検に努めることとされている外部精度管理調査（改正後医療法施行規則第9条の7の2第2項関係）の受検先として推奨されているところです。

当会では、単に精度管理調査の実施にとどまらず、是正・サポートも含めた検査室の品質保証施設認証制度による総合臨床検査品質保証体制の構築も視野に入れております。

受検を希望されるご施設は、以下に記載されている説明をご熟読の上、お申込みくださるようお願いいたします。なお、お申込みできる期間、及び申込数には制限がありますのでご注意ください。

I. 調査実施日程(予定)



Ⅱ. 受検番号、及び受検料

受検コースは、1～13、S1～S3 の16コースに分かれています。

1～13、及びS1～S3 の受検番号より、申込みを希望する番号を選択してください。

ただし、受検項目が重複する受検番号の組み合わせは選択することができません。

(例：1番と11番、2番と3番、4番と5番 等)

受検番号	受検項目	受検料
1	基本項目 (①臨床化学、②免疫血清、③血液、④一般)	24,444円 (税抜価格 22,222円)
2	微生物A (グラム染色、フォトサーベイなど)	4,074円 (税抜価格 3,704円)
3	微生物B (グラム染色、細菌同定2種、細菌薬剤感受性2種、 フォトサーベイなど)	14,259円 (税抜価格 12,963円)
4	輸血A (ABO血液型、RhD血液型)	15,277円 (税抜価格 13,889円)
5	輸血B (ABO血液型、RhD血液型、不規則抗体スクリーニング、 不規則抗体同定、試験管法による凝集反応、フォトサーベイ)	18,333円 (税抜価格 16,667円)
6	遺伝子A (結核菌群定性)	12,222円 (税抜価格 11,111円)
7	遺伝子B (HCV定量、HBV定量)	16,296円 (税抜価格 14,815円)
8	生 理	2,037円 (税抜価格 1,852円)
9	細 胞	2,037円 (税抜価格 1,852円)
10	病 理	2,037円 (税抜価格 1,852円)
11	1 + 3 + 5 + 8 + 9 + 10	57,037円 (税抜価格 51,852円)
12	11 + 6	65,184円 (税抜価格 59,259円)
13	11 + 6 + 7	81,481円 (税抜価格 74,074円)
S1	免疫血清 (甲状腺項目：TSH、FT4)	13,200円 (税抜価格 12,000円)
S2	遺伝子 (SARS-CoV-2遺伝子核酸増幅) ※原材料の高騰に伴い受検料を改定いたしました。	11,000円 (税抜 価格 10,000円)
S3	POCT (インフルエンザA型抗原、B型抗原、アデノウイルス抗原、RSウイルス抗原、肺炎マ イコプラズマ抗原、A群溶血性連鎖球菌抗原、SARS-CoV-2抗原)	12,222円 (税抜価格 11,111円)

Ⅲ. 受検項目

貴施設で自ら実施している検査項目のみ受検することができます。

※外部に委託している検査項目は受検できません。

1. 基本項目	
① 臨床化学	② 免疫血清
グルコース (Glu)	フェリチン
総ビリルビン (TB)	AFP
直接ビリルビン (DB)	HBs抗原 (定性・定量)
ナトリウム (Na)	HCV抗体 (定性・定量)
カリウム (K)	梅毒TP抗体 (定性・定量)
クロール (Cl)	CEA
カルシウム (Ca)	PSA
無機リン (IP)	β 2マイクログロブリン (β 2M)
鉄 (Fe)	リウマトイド因子 (RF) 定量
マグネシウム (Mg)	③ 血液
総蛋白 (TP)	ヘモグロビン濃度
アルブミン (Alb)	血小板数
尿素窒素 (UN)	白血球数
クレアチニン (Cre)	赤血球数
尿酸 (UA)	平均赤血球容積 (MCV)
総コレステロール (TC)	ヘマトクリット値
中性脂肪 (TG)	プロトロンビン時間
HDL-コレステロール (HDL-C)	活性化部分トロンボプラスチン時間
LDL-コレステロール (LDL-C)	フィブリノゲン量
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)	フォトサーベイ等 【血液像、その他】
アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)	④ 一般
アルカリホスファターゼ (ALP)	尿蛋白 (定性)
乳酸デヒドロゲナーゼ (LD)	尿糖 (定性)
クレアチンキナーゼ (CK)	尿潜血 (定性)
γ -グルタミルトランスフェラーゼ (GGT)	便中ヒトヘモグロビン (定性・定量)
アミラーゼ (AMY)	フォトサーベイ等 【尿沈渣、脳脊髄液、寄生虫、その他】
コリンエステラーゼ (ChE)	
尿グルコース (uGlu)	
尿蛋白 (uPro)	
尿クレアチニン (uCre)	
ヘモグロビンA1c (HbA1c) ※NGSP値	
C反応性蛋白 (CRP)	
免疫グロブリンG (IgG)	
免疫グロブリンA (IgA)	
免疫グロブリンM (IgM)	

オプション項目	
2. 微生物A	8. 生理
グラム染色	フォトサーベイ 【心電図、超音波、神経生理、呼吸機能、聴覚】
フォトサーベイ等 【設問文からの菌推定など】	9. 細胞
3. 微生物B	フォトサーベイ 【婦人科、呼吸器、その他】
グラム染色	10. 病理
細菌同定2種	フォトサーベイ等 【病理標本作製技術、その他】
細菌薬剤感受性2種	S1. 免疫血清(甲状腺項目)
フォトサーベイ等 【設問文からの菌推定など】	甲状腺刺激ホルモン(TSH)
4. 輸血A	遊離サイロキシシン(FT4)
ABO血液型	S2. 遺伝子(SARS-CoV-2遺伝子)
RhD血液型	SARS-CoV-2遺伝子(核酸増幅)
5. 輸血B	S3. POCT(感染症項目)
ABO血液型	インフルエンザA型抗原
RhD血液型	インフルエンザB型抗原
不規則抗体スクリーニング	アデノウイルス抗原
不規則抗体同定	RSウイルス抗原
試験管法による凝集反応	肺炎マイコプラズマ抗原
机上問題(抗体同定)	A群溶血性連鎖球菌抗原
6. 遺伝子A	SARS-CoV-2抗原
結核菌群(TB)定性	
7. 遺伝子B	
C型肝炎ウイルス(HCV)定量	
B型肝炎ウイルス(HBV)定量	

IV. 受検申込み方法 ※申込み締切り後は、受付できません。

1. 申込みに当たって

本精度管理調査はWebを介してのみ受検、申込み頂いております。

精度管理調査のWebサイトに入るためには、「施設番号」、及び「施設パスワード」が必要となります。

当会登録施設には、「施設番号」、「施設パスワード」、及び「実施要領」を **2026年3月10日(火)**に郵送いたします。なお、この「実施要領」は日臨技ホームページ、JAMTQC 参加施設向けシステムにも掲載しております。

※お申込みには、当会に施設登録が必要です。

2. 申込み方法

当会のホームページ <https://www.jamt.or.jp/> より、トップページの上段左から2番目のバナー



をクリックし、『JAMTQC 参加施設向けシステム』から施設番号と施設パスワードを入力してログイン ⇒ 『事務メニュー』 ⇒ 『精度管理事業』を選択してお申込みください。

なお、画面右上に『入力ガイド』を掲載していますので、ご参照ください。

※試料は充分数用意していますが、申込期間内であっても受検申込数が試料準備数に達した場合は、その時点で受付を終了します。

※申込み受付終了後の申込み内容の変更、キャンセル等は一切お受けできません。

3. 受検申込み期限

2026年3月10日(火) 午前10時 ~ 4月3日(金) 午後6時まで

V. 受検料の支払いについて

受検料の支払期限 : 2026年7月14日(火) 厳守

※請求書の発行日は、受検申込締切日の2026年4月3日付となります。

受検料の支払方法 : 払込票(コンビニ及び郵便局払い)

※2023年度より、受検料の支払方法が「銀行振込」から「払込票」に変更となっています。受検料の支払方法にご注意ください。

※受検施設に別便で送付する「払込票(コンビニエンスストア及び郵便局払い)」によるお支払いのみとなっています。差出人は、「みずほファクター株式会社」名で、白い窓あき封筒でお送りします。払込票は、申込締切後より1週間程度でのお届けとなります。

払込票は、精度管理調査申込画面『受付入力』⇒『請求先』にご入力された住所、担当者宛に郵送でお送りします。申込終了後の修正等はできませんので、ご入力内容にお間違いがないことをご確認いただき、お申込みをお願いします。

また、請求書の出力は従来とおり各施設でお願いします。出力方法は、JAMTQCシステムにログイン⇒『事務メニュー』⇒『精度管理事業』⇒『請求書』から出力できます。

以下の事項にご留意ください。

- 1) 「見積書」、「納品書」、「請求書」は、**受検申込み締切日以降**に『事務メニュー』から打ち出し可能となりますので、必要な場合は印刷してご使用ください。当会にて、受検料の入金確認後より領収書の印刷が可能となります。
- 2) 当会から発行いたします「見積書」、「納品書」、「請求書」などの**信憑書類について、発行日の変更、押印、書式の変更等の対応は一切いたしません。また、施設所定の請求書への対応もいたしかねます。**ご承知おきください。当会では、申込確定日(締切日)を請求日としています。

VI. 日臨技からのお願い

◇調査データの第3者への提供について

この精度管理調査の集計結果は、各都道府県、支部、経営主体別技師会などより提供の依頼があった場合や、担当役員・委員が必要と判断した場合に、当会執行理事会にて、そのデータ利用目的の妥当性を審議した後に、これを提供することがあります。また、不良評価に対してサポート事業の目的で、都道府県技師会へ情報を提供し、検査の質向上のためフォローアップ対応を実施することもあります。また、当会の臨床検査データ標準化事業の解析に使用することもありますので申し添えます。

◇メールアドレスのご登録のお願い

精度管理調査期間中に緊急で大切なお知らせ等は、申込み時に登録されたメールアドレス宛にお送りすることがあります。必ず受信可能なメールアドレスのご登録をお願いします。また、期間中はJAMTQCトップメニューのお知らせ、メールの確認を定期的にお願ひします。

◇評価について

評価は、指導改善を目的とし4段階での評価(評価A・B・C・D)とします。

具体的な評価方法については、施設別報告書に記載します。

◇注意事項

1. 本精度管理調査の申込みと回答は、Webからのみです。

『Webからの申込みと回答』が不可能な場合は、この調査を受検することができません。

2. 調査の手引書、フォトサーベイ集はWeb画面に掲載しますので、必要なページをご覧ください。当会から印刷物やCD-R等での配付はありません。

3. 施設別報告書、総括統計表、参加証は、2026年6月末頃にWeb画面へ掲載する予定です。また、参加証は、総合報告書の送付時に印刷したものを同封します。

施設別報告書と総括統計表は、当会から印刷物としての配付はありません。

4. 受検料支払期日、及び施設別報告書公開日までに、お支払いが完了していない場合、施設別報告書、ならびに参加証は発行されません。入金確認後の発行となります。

5. 2026年6月2日試料送付の際、住所登録間違い、宛先不明などの理由により再配送となった場合は、貴施設の負担(有料)となります。※場合により再配送不可申込終了後の修正等是不可能的なので、ご入力内容にお間違いがないことを十分にご確認いただき、お申込みをお願いします。

6. 施設内内部精度管理調査データの入力にご協力ください。

VII. お問い合わせ先

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 精度管理調査 担当

〒143-0016 東京都大田区大森北4-10-7

Mail: jamt-survey@jamt.or.jp

※お問い合わせはmailをお願いします。

実践！災害対策シミュレーションー避難所運営ゲーム(HUG)に触れてみようー

HUG研修会を開催して（１）

令和7年12月20日、山口県総合保健会館において山臨技brush up seminarを開催しました。



テーマは「実践！災害対策シミュレーションー避難所運営ゲーム（HUG）に触れてみようー」とし、HUGを体験することで災害時の状況について知識をつけることを目的としました。HUGは避難者を避難所に配置していくカードゲームですが、そこには様々な事情があり、また、次から次へと避難者がやって来るためグループで相談しながら対応を決めていかなくてはなりません。

当日は参加者を2グループに分け、リーダー、サブリーダー、記録係、連絡係、誘導係、渉外係、食糧・物品調達係をそれぞれ決めてもらいHUGを開始しました。ファシリテーターは私が行い、次々と避難者のカードやイベントが記載されたカードを読み上げて参加者に対応してもらい1時間10分程度ですべて完了しました。その後、各グループにて気を付けたところや対応に苦労した部分などを説明していただく振り返りの時間を設けてディスカッションを行いました。同じように進めても避難者の配置場所が異なる部分が多く、それぞれのグループの特色が垣間見れて興味深い

結果となりました。

参加者からのアンケートでは、「たくさんの避難者とイベントに対応する必要があるため実際のイメージができて大変ためになった。」、「初めて体験したがとても楽しかった。どういうところにポイントを置いて部屋割りをしたら良いか、物資の配置、対応などをすればよいか考えながらできた。」といった前向きな意見、感想を多数いただき、主催側として大変嬉しく思いました。

今回HUG研修会を実施するにあたり、私自身避難所の運営について特に知識があったわけではないためファシリテーターを務まるか不安が大きかったですが、参加者の皆様がそれぞれ意見を出し合いながら楽しそうに取り組まれており、大変有意義な研修会になったと感じました。HUGに正解はなく、一人一人が考えて避難所運営の現状や難しさを少しでも知ることが重要だと思います。当県のみならず様々な場所で実施することで会員の災害対応時の能力向上に繋がると考えられ、今後も継続して取り組むことが必要と感じました。



（山口県臨床検査技師会常務理事 伊藤 大佑）

（編集後記）

皆様、あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年末には当会の会長候補者を選出する選挙が実施されました。今回の選挙においては、役員候補者選出規程の趣旨に反する行為が見受けられました。現行の規定では、違反行為に対する明確な罰則規定が十分とは言えず、課題が浮き彫りになった選挙であったと受け止めております。

この点を踏まえ、役員候補者選出委員会に対し、今後同様の事態が生じることのないよう、会長候補者選挙の在り方や運用ルールの見直しを含めた仕組みづくりを要望したところです。

いずれにいたしましても、本年6月の定時総会およびその後の理事会を経て、新たな会長とその体制のもとで日臨技の運営が進められることとなります。新執行部におかれましては、会員全体、さらには多くの臨床検査技師の将来のために、誠実かつ献身的に職責を果たしていただくことを切に希望いたします。

（深澤）